

広島市市民農園指定管理者の業務実施状況（平成 28 年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市見張市民農園（広島市安佐北区白木町大字井原・大字小越） 広島市三田市民農園（広島市安佐北区白木町大字三田） 広島市三国市民農園（広島市安佐北区安佐町大字久地）
(2) 指定管理者等 （公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市農林水産振興センター （広島市安佐北区深川八丁目 30 番 12 号） (2) 指定期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 (3) 指定管理料の限度額（5 年間分） 2,389 万円

2 実地調査の実施状況

区 分	内 容
実施年月日	平成 29 年 3 月 24 日（金）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成 28 年度の状況	市の評価
(1) 管理業務の実施状況	
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況 (ア) 広島市市民農園条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないように、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 農園施設や空き区画状況、施設内で開催される都市農村交流イベント等の情報をホームページ等により提供している。	○
イ 事業の実施状況 次の事業を実施している。 (ア) 農作物の栽培体験のための場の提供 (イ) 都市と農村との交流の場の提供 (ウ) 農業及び農村に関する知識の普及啓発 (エ) 農業及び農村に関する情報の収集及び提供 (オ) その他市長が必要と認める事業	○
ウ 維持管理業務等の実施状況 次の業務を実施している。 (ア) 農園の使用許可に関すること。 (イ) 市民農園における集会等の行為の許可に関すること。 (ウ) 市民農園の施設及び設備の維持管理に関すること。 (エ) その他市長が定める業務	○

平成28年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成28年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	1,089万1千円	1,052万9千円	△36万2千円	
指定管理料	465万8千円	465万8千円	0千円	
利用料金	623万3千円	586万3千円	△37万円	
その他	0千円	8千円	8千円	
繰入金(0千円)	繰入金(0千円)	繰入金(8千円)	繰入金(8千円)	
支出 (b)	1,089万1千円	1,052万9千円	△36万2千円	
差引 (a) - (b)	0千円	0千円	0千円	
イ 特記事項				
利用料金収入が見込みを下回ったことにより、指定管理料と利用料金の合計のみでは支出を賄えなかったが、これについては指定管理者の自己資金（繰入金）により対応しており、運営に支障は生じていない。				
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 講習会やイベントの実施時に参加者に対しアンケート調査を実施し、把握した利用者ニーズを施設管理や事業プログラムの改善に反映している。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程、個人情報保護方針及び個人情報に関する運用マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより、適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 「防犯・防災マニュアル」を作成し、職員及び日常管理を行う地元の下三田地区・見張地区・三国地区市民農園運営委員会委員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情・要望対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等				○
(ア) 配置人員（4月1日現在） 6人（各農園には地元の市民農園運営委員会の委員を管理者として配置している。）				
(イ) 職員研修の実施状況				
a 救急救命講習会（10月13日）				
b 安全運転講習会（10月27日）				
c 職員倫理研修（11月17日）				
d 健康管理研修会（12月1日）				
(ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について適正に実施しており、また、最低賃金額を遵守している。				

平成28年度の状況		市の評価
キ	自己評価の実施状況 評価基準を作成し、利用者アンケート調査を踏まえて、自己評価を行っている。	○
業務の実施状況の評価		A

4 施設の利用状況

平成28年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用者数等				B	<p>市民菜園に比べて利用料金に割高感があることなどから、数値目標の達成には至らなかった。</p> <p>ジャガイモやダイコンなどの植え付けと収穫を安価に体験できる「おたのしみ区画」の提供などにより利用促進を図った。</p> <p>今後は、こうした安価で体験できる区画の利用をさらに促進するとともに、新規入園者確保のための入園体験イベントの開催や、近隣企業への福利厚生での農園利用の働きかけ、広報活動の強化を行うことで利用促進を図るよう指導した。</p>
目標利用者数 (ア)	利用者数実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	達成率 (イ) / (ア)		
1万4,565人	1万2,205人	△2,360人	83.8%		
<p>※ 前年度実績 1万1,832人 (増減率3.2%増)</p> <p>イ 利用促進策等の実施状況</p> <p>(ア) 広報の充実 都市農村交流イベントや空き区画状況等の情報について、広報紙やホームページ、公民館等で提供した。 新たに市内のホームセンター10カ所に対して入園募集のチラシの配布を行い、PRに努めた。</p> <p>(イ) 指定管理者の提案により実施した取組 入園区画に隣接する空き区画に防草用ビニールシートを被覆するなど、入園者への不利益防止に努めた。 草花などの植栽を行い季節感のある環境づくりに努めた。 こまめに清掃するよう心がけ、安全で清潔感のある利用環境を維持できるよう施設管理を徹底した。</p> <p>(ウ) 自主事業の実施 市民農園において特定作物の植え付けと収穫を体験できる「おたのしみ区画」や安価で半年間利用できる「おためし区画」を提供し、利用促進を図った。 入園者の意見やニーズを組み入れながら、各農園で各種講習会やイベント(収穫祭、そば打ち、イモ掘り等)を企画・実施し、魅力づくりに努めた。</p>					

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市が実施したアンケート調査結果(標本数346件)では、サービス内容などの満足度については、満足が66.3%、不満が5.0%であった。	B	職員及び管理人の対応、施設内の清潔度などの項目について、全体として「ふつう」という評価が多かったため、アンケート回答者の意見を参考に、利用者の満足度を向上するよう指導した。

6 評価

区 分	市の 評価	特記事項	
評価（5段階評価）	3	施設の利用状況は目標を達成していないが、自主事業の実施や広報の充実により、利用率に改善が見られた。 そのため、引き続き広報活動の充実や魅力ある自主事業の展開などに努め、利用者の増加及び満足度の向上を図るよう指導した。	
	業務の実施状況		A
	施設の利用状況		B
	利用者の満足度		B